

小学校6年生教科担任制の研究（学校力の育成推進）について

倉吉市教育委員会事務局学校教育課

1 趣旨

児童、保護者の価値観が多様化している現状に対して、小学校が抱える課題を克服するために、複数の教員がチームで支援する仕組みについて研究を行う。

→モデル校を指定し、小学校6年生での教科担任制（3～4教科）を導入する。

〈期待できる効果〉

- ・教員の専門性の向上 → 授業改善、学力向上
- ・複数教員による指導（チーム支援） → より正確な児童理解、教員の協働意識向上

2 経過

①平成21年度：市内1校（上灘小）で実施：市よりの加配教員1名（非常勤）

②平成22年度：市内2校（上灘小、河北小）で実施：市よりの加配教員1名ずつ（非常勤）

3 実践概要

①平成21年度

【上灘小】66名児童の3クラス編制→書写、社会、理科、音楽、家庭で教科担任制

（県よりの加配教員を6年担任に配置、市よりの加配は中学年の理科等を担当）

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	英語
週時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2.5	1	0.5
6の1	A	A	D	AB	C	E	A	B	AB	A	A	A	A
6の2	B	A	D	EF	C	E	B	B	C	B	B	B	B
6の3	C	A	D		C	E	C	B	合体	C	C	C	C

※A=1組担任、B=2組担任、C=3組担任、DEF=担任外

※学力差に対応するため算数は学級を解いて、習熟度別4グループで指導

②平成22年度

【上灘小】61名児童の2クラス編制

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	英語
週時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2.5	1	0.5
6の1	A	A	C	AB	B	E	A	F	AB	A	A	A	A
6の2	B	A	C	D	B	E	B	F	合体	B	B	B	B

※A=1組担任、B=2組担任、CD=担任外、E=教頭、F=4年担任

※学力差に対応するため算数は学級を解いて、習熟度別3グループで指導

（1学期は各学級で行っていたが、コース別での指導を望む声に応えたもの）

※1組担任は時間数のバランスを取るため1年、4年の体育を行う

【河北小】65名児童の2クラス編制

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	英語
週時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2.1	1	1
6の1	A	C	A	AB	D	B	A	C	AB	A	A	A	A
6の2	B	C	B	EF	D	B	A	C		B	B	B	B

※A=1組担任、B=2組担任、CDEFG=担任外

※学力差に対応するために算数は学級を解いて、習熟度別4グループで指導

4 成果と課題

①平成21年度

成果

《学力向上について》

- 得意分野や専門性を活かした教科指導を行い、児童の興味・関心・意欲を高めることができた。教師の指導力の向上にもつながった。
- 教材研究・教材準備のための時間確保に努め、授業の質の向上につながった。
- 教科毎に教師や教室が変わることで、児童に適度な緊張感を与えることができた。
- 算数ではコース別学習を行い、一人一人の能力に応じたきめ細かい学習をすることができた。

《生徒指導面について》

- 2学級66名（1学級33名）を3学級（1学級22名）編制にしたことにより、一人一人にきめ細やかな指導やゆとりある指導ができた。
- 担当者全員で学年の児童を育てるという意識が強くなり実際の指導でも生かすことができた。（複数の教師の目で児童の課題やよさを見ることができ、指導の幅を広げることができた。児童に対して複数の相談窓口を設けることができ、担任以外の先生に相談する児童もいた。）

《評価について》

- 第1回児童アンケート結果→肯定的な意見（概ね満足から十分満足）が17項目中15項目
- 第2回児童アンケート結果→12項目が前回よりポイントアップ、2項目がダウン
- 「授業の準備」「ノートをきちんと書く」が80%超→学習に対する構えの向上。
- 「くわしく説明してくれる」「授業はわかりやすい」の数値も高い→教師の専門性が発揮。
- 保護者アンケート→「いろいろな先生と話ができてよかった」に8割以上の肯定的回答

課題

- △時間割編成の工夫と授業時間数の確保（欠時の補充・自習の扱い等）
- △打合せ時間の確保と協議内容の徹底

②平成22年度

成果

- 8割以上の児童が「授業はわかりやすい」と回答している。
- 教職員それぞれの専門性を生かした指導ができています。（教材研究がしっかりでき、授業内容を充実させられた。）
- 教職員のチームワークがうまく機能している。（児童理解、学習規律等）
- 保護者はたくさんの教員に見てもらっていると肯定的に評価している。（ただし実際にその様子を見る場がなかった。→今後参観日での公開を予定）

課題

- △年度当初の教員の配置が遅い。配置される教員の得意分野が分からず、何を担当するのか決定しにくかった。